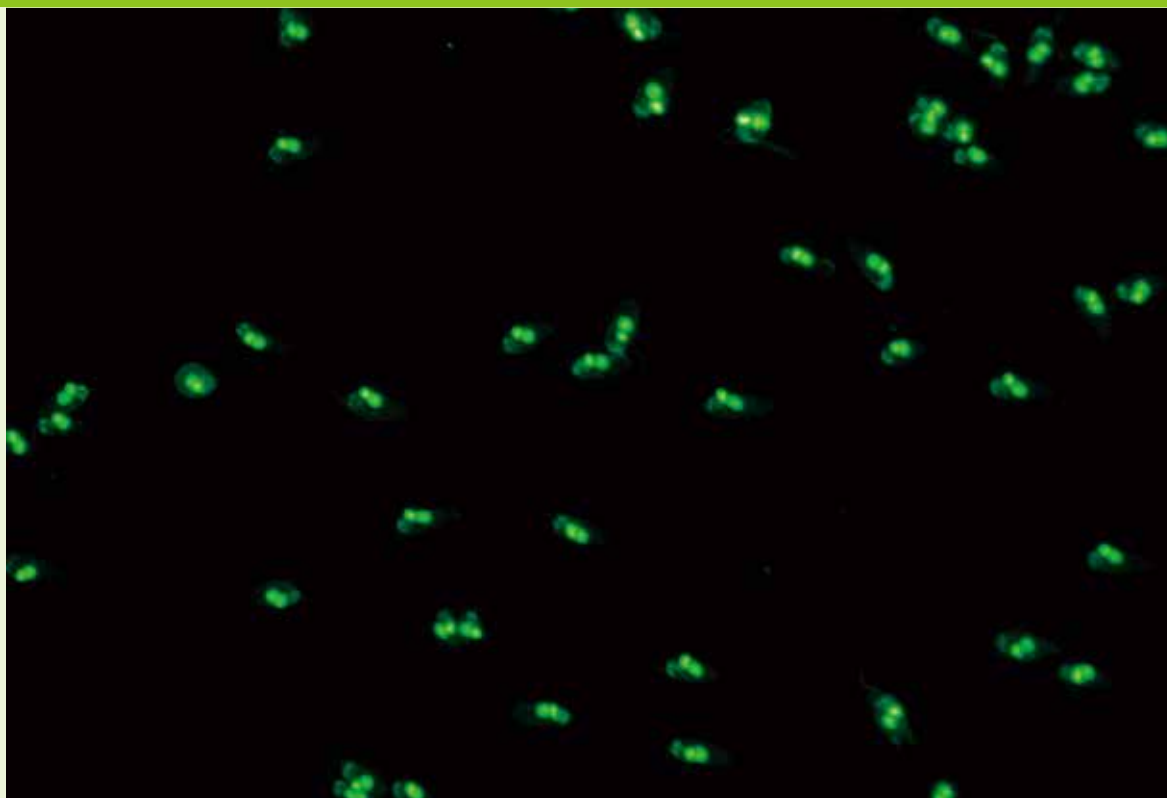


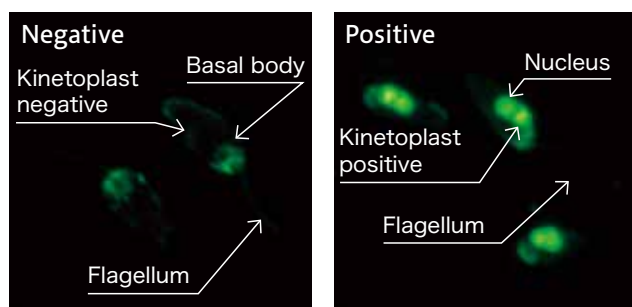
nDNA/dsDNA (*Crithidia luciliae*)



陽 性 Kinetoplastに特異蛍光を認めるもの

陰 性 Kinetoplastに特異蛍光が認められないもので、下記の3通りある

- (1) *Crithidia luciliae*に全く蛍光が認められず、kinetoplast部が黒く抜けたもの
- (2) 基底小体に著しい蛍光を認めるが、kinetoplastに特異蛍光を認めないもの
- (3) 核に特異蛍光を認めるが、kinetoplastに蛍光を認めないもの



疑われる疾患

● 全身性エリテマトーデス (SLE)

抗2本鎖DNA (dsDNA) 抗体は、抗核抗体の1つであり、SLEに高い特異性があるため、診断の確率を高めるものとして注目されている。一方、抗1本鎖DNA (ssDNA) 抗体は疾患に非特異的であり、関節リウマチ、慢性活動性肝炎、原発性胆汁うっ滞性肝炎、薬剤誘発性ループスなどにも見出される。このようなことから、抗DNA抗体の検査は、抗dsDNA抗体と抗ssDNA抗体を区別して行う必要がある。

フルオロnDNAテストは基質として*Crithidia luciliae*を用いており、kinetoplast (mitochondrion) のnativeDNA (nDNA) はdsDNAを多量に含み、ssDNAやヒストンを含まない。このため、抗dsDNA抗体を正確かつ簡単に検出することができる。

関連抗原

dsDNA

MBL関連製品

抗核抗体

ELISA法 MESACUP™ DNA-IIテスト「ds」

MESACUP™ DNA-IIテスト「ss」

CLEIA法 ステイシアMEBLux™ テスト dsDNA

ステイシアMEBLux™ テスト ssDNA

参考文献

1. Chubick A, Sontheimer RD, Gilliam JN, Ziff M. An appraisal of tests for native DNA antibodies in connective tissue diseases. Clinical usefulness of *Crithidia luciliae* assay. *Ann Intern Med.* 1978;89(2):186-92.
2. Deegan MJ, Walker SE, Lovell SE. Antibodies to double-stranded DNA. A comparison of the indirect immunofluorescent test using *crithidia luciliae* and the DNA-binding assay. *Am J Clin Pathol.* 1978;69(6):599-604.